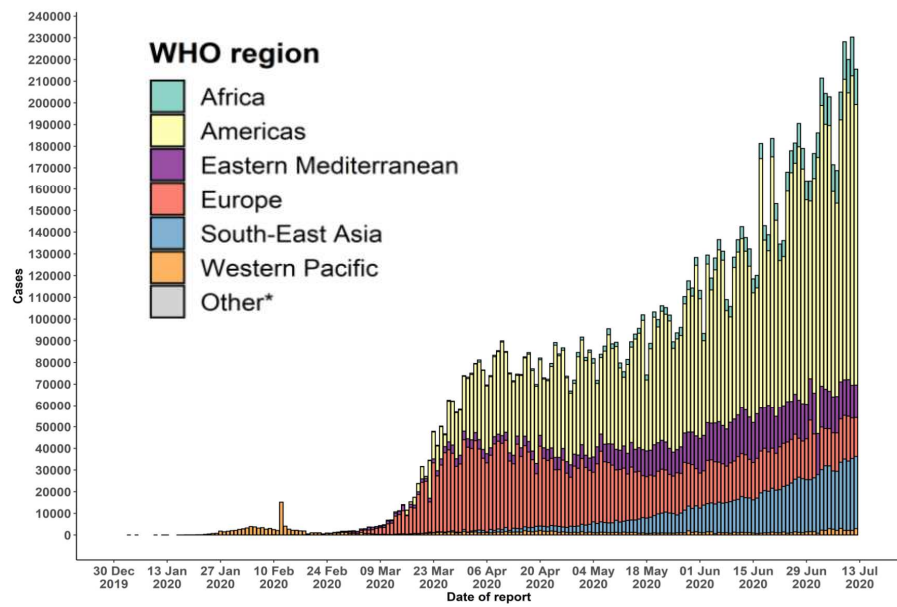


Figure 2. Number of confirmed COVID-19 cases, by date of report and WHO region, 30 December through 13 July\*\*



二十二十年七月二十日  
**コロナニュース9**

☆ けた外れに長い梅雨からの豪雨災害が続き、酷暑と熱中症、そして台風と、未経験の災害がこれからも起こるでしょう。心配していたコロナの第2波が到来しています。第1波の教訓を生かして、新しい生活様式で乗り切らしましょう。

☆ 全世界の感染の傾向・・・久しぶりにWHOの統計から引用です。相変わらずのアメリカ大陸の増加。2大国の大統領の行動！インド・アフリカの増加。感染を押しよこすのはヨーロッパですが経済活動の再開とともに感染との共存が現実化。日本では第2波といっています。世界的には第1波の真ただ中です。世界的な第2波を考えるとこの感染との戦いが年をまたがり長く苦しいものになることは明らかです。

☆ 日本での感染拡大の傾向は若年者が多く感染経路不明者が増えていた状態から、危惧していた通り中高齢者に広がっています。医療はひっ迫していないといわれていますが、医療崩壊は目の前です。感染防御に少し疲れて、危機感が薄れている現在、前回よりさらに恐ろしい感染拡大が起こり始めています。みなさんその対策は進んでいるでしょうか。

☆ 空気感染・・・飛沫感染とか空気感染とかは人間が勝手に名づけた便宜的なものです。感染力が強いこと、ウイルスを含んだ飛沫核が長く空間に漂うことは明らかですから、空気感染すると考えてください。よほど空気中の部屋の中に感染者がいればあなたがその空気を吸うだけで感染する危険が高いです。

☆ COVID-19は新型コロナウイルス感染症

☆ 無症候性感染者・・・問題はその感染者がわからないことです。無症候性感染者の存在は2割近いようです。特筆すべきはこのウイルスでは無症候性感染者が感染を広げます。

☆ 抗体が消える・・・一度感染して獲得した抗体(特異抗体)が長くは持続しないと報告されています。感染を繰り返すことがありそうです。ただ免疫の原則としては2回目の感染は1回目より軽いことが期待されます。アジア系の死亡率の低さは、似たウイルスの既往感染による交差免疫の存在によって説明できるそうですが、くれぐれも武漢の例がありますので油断はできません。

☆ 基本的な感染対策を確認・・・3密を避けるのが基本です。しゅう・きん・ぺいです。密集・密接・密閉はそれぞれ一つ一つを避けなければいけません。どれかが抜けても感染が起こります。部屋を密閉しない。窓を開けて空調(冷暖房)を回す。人の密度を上げない(ソーシャルディスタンス)・近くで向かい合って人と話さない(テレワークなどの利用)。

☆ マスクとフェイスシールド・・・マスクは人と話をするときに必要です。野原で一人日光浴を楽しむ時には不要です。家族でピクニックも大丈夫でしょう。マスクは飛沫の発生を予防するの

☆ 新しい生活様式は画一的ではない・・・自粛ばかりの生活では経済も精神もたないと思

☆ には強力ですが、飛沫の吸い込み防御には限度があり、その性能にも大きく左右されます。ウイルスの通過を0にすることはできません。そして、飛沫が飛び交う状況では結膜からの感染を防ぐゴーグルやフェイスシールドも必須です。

☆ こまめな手洗いと消毒・・・アルコールによる手指消毒、流水と石鹸による手洗いは最も手軽で汎用性のある感染防御です。広い範囲の消毒には安価に入手できる次亜塩素酸系の薬品をうまく利用しましょう。

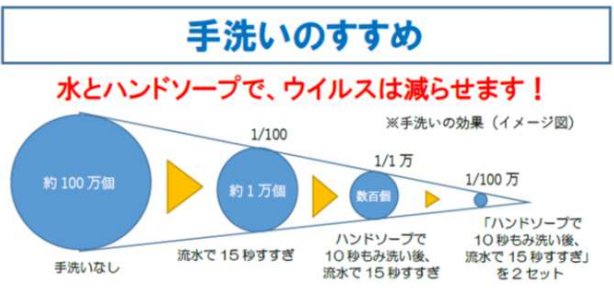
☆ 新しい生活様式は画一的ではない・・・自粛ばかりの生活では経済も精神もたないと思

☆ 混雑していない海で泳ぐのに感染リスクは少なく、以前と同じはあきらめて、少し工夫して新しい生活様式を模索しましょう。ルールを守りつつ経済活動を始めるしかなのです。満員電車は避け、会食はなし、会議はネット、会談は距離とマスクと換気。映画や観劇は数を減らした屋外劇場。夜の街はどうしましょう。

☆ 感染陰性の人だけが参加できる接待、会食やパーティーであれば、3密も許されるかもしれません。リスクはゼロではありませんが、いよいよPCR検査などの需要が爆発的に増えます。検査技師の資格は今からとても重要されるはず

☆ すべての医療施設、介護施設において、定期的なPCR検査、新規入院患者や入所者に対するPCR検査を行うことを前回のコロナニュースで提言しました。一部の医療施設では始まっているようですが、その歩みはとも遅いような印象が

☆ PCR検査、新規入院患者や入所者に対するPCR検査を行うことを前回のコロナニュースで提言しました。一部の医療施設では始まっているようですが、その歩みはとも遅いような印象が



	意義	検体	長所	短所
PCR検査	今感染しているかどうかを判定	鼻咽頭拭い液 喀痰など	感度が高い	結果までに時間がかかる(約6時間)
抗原検査キット		鼻咽頭拭い液	短時間(約30分)で判定可能	感度が低い
抗体検査	過去の感染の有無を判定	血液	感染症流行の全体像を把握できる	偽陽性が起こり得る

PCR検査・抗原検査・抗体検査の意義・検体・長所・短所(筆者作成)

☆ さて、当診療所に進まないのであれば、今後当院でも職員

☆ オンライン診療を開始しています。電話再診の活用も勧められています。患者様側でオンラインに必要な用意は、専用アプリをインストールしたスマホとクレジットカード・保険証と身分証明書(運転免許証など)です。電話再診はさらに手軽にできます。受付でお尋ねください。

**医院からのお願い**

- ★ 電話再診・オンライン診療が利用できます。受付などでご相談ください
- ★ 体温を自宅で計って発熱があればあらかじめ連絡をください!
- ★ 医院の入り口で体温を測ります。発熱者は車内での待機をお願いします
- ★ 入り口で手指消毒・マスクをしてください

コロナニュース 編集・文責 村松正俊

